(1)　昭和42年12月1日

いわむろ

発行所　岩室村役場
印刷所　巻・北洋印刷K・K
No.68

年末年始の休暇のことについて

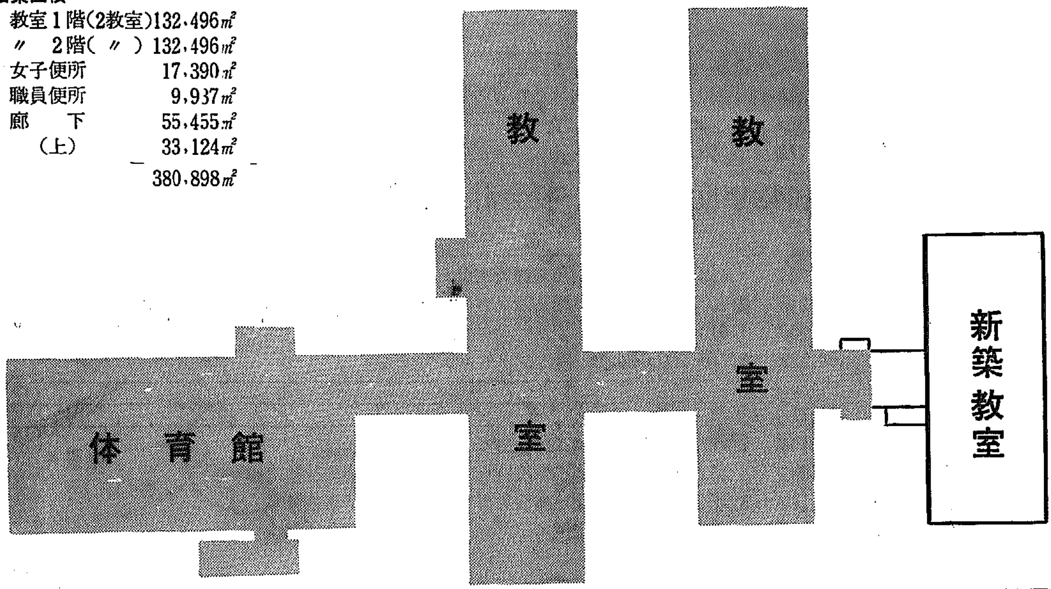
年末を控え何かと御多忙のことと存じます。さて年末年始になりますと、各諸官庁は二十八日をもって御用じまい、二十九日から一月三日まで年末年始の休暇として休みをいただいて居りますが、最近の世相からいって、長期休暇は住民の皆さんに大変御不便をおかけすることもありますので、今年の場合十二月三十日（土）の午前まで通常勤務をいたし少しでも皆様方のサービスに努めることにいたしましたので、どうぞ御利用下さるようお願いいたします。但し、一月十六日は臨時休業とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。（役場）

新学期よりみんな仲よく勉強

岩室小学校統合される

増築面積

教室1階(2教室)	132,496m²
〃　2階(〃)	132,496m²
女子便所	17,390m²
職員便所	9,937m²
廊　下	55,455m²
(上)	33,124m²
	380,898m²



村の皆さん『小学校も統合し皆んなと一緒に勉強できるようにしてください。』

『五十嵐君（岩小五年）小さな望み達成される』

教育村岩室を目指して三年継続事業として総工費一億四千二百四十万円を投入、間瀬、和納、岩室、三中学統合し、県下屈指の最優秀校として歩み始めました。岩室小学校も昭和四十年九月に旧東校舎全児童、西校舎五、六年を旧岩室中学校舎に収容し岩室小学校の統合の第一歩を踏み出した。そして村民各位の総意の基に来年度新学期を目指して完全統合されることになりました。

広報「いわむろ」五七号一月一日号で新年を迎えるにあたって『羊どし生まれ』の村民六人の人たちより

・郷土を発展させるためには、
・村に希望すること、

等四つの項目について抱負を述べていただきましたが岩小五年、五十嵐永明君が『村に希望する』の質問に対して『本校舎と西校舎が分かれているので早く一緒に勉強できるようにして下さい』と強く訴えていました。また岩小、小野寺先生も東西両校舎統合の実現を教育者の立場より切望していました。これらの皆さんの希望がもう実現されるようになり期待されている。

昭和四十年九月統合校舎を計画し第一歩を示した。当初より東西校舎の全児童が一緒に勉強できる完全統合校舎を目標に計画し検討してきましたがそれには教室数が不足し一校に統合は不可能で東校と、西校舎で別れて勉強してきた。分離した校舎の教育効果、校舎の維持管理費の出費等を考慮した場合どうしても一校統合が得策であったが当時中学校の建築に多額な費用を要しており、小学校の建築にはとても着工できない状態でありましたが、同校の建築も一応終り十二月より小学校の建築にとりかかる予定であります。

来年四月の新学期から、希望に目を輝やかして入学する新入生を迎え入れることもできるでしょう。

この建築は昭和四十三年度事業（債務負担行為）として国の補助金を受けるために完成は五月末になる予定であります（児童の勉強には支障はない）

十二月一日工事着工

総工事費　八百九十万円
建築面積三八〇、八九八m²
工事完成　五月十日
請負業者　石瀬　鈴木組

Xmas・フォークダンスとゲームのつどい

12月24日　PM1.00
岩室中体育館
主催　青少年連絡協議会
　　　岩室公民館